

## オンライン企画

“SERIES リベラルアーツ:『自由に生きるための知性とはなにか』”

をスタートします。

コロナ禍で社会の脆弱さが露出しています。格差と不平等が顕わになっているといえるでしょう。コロナ禍それ自体をどう乗り越えるのかは当面の課題ですが、予想できない事態に遭遇する未知なる時代を生き抜くための知が求められるといえます。専門知だけでなく、領域を越境する教養知(リベラルアーツ)の存在が問われているといえるでしょう。教養知(リベラルアーツ)は社会と自己を自由にするための知であるはずで、いま改めてこうした知性に関心が集まります。

この世界は、答えのない問い、答えがひとつではない問いに溢れています。大学は、そうした問いと遭遇し、向き合う場です。問いを問い直す知として教養知(リベラルアーツ)があります。高校までの勉強との違いにとまどうこともあるでしょう。だから、私たち教養教育センターは「ようこそ、立命館大学へ！」の気持ちを込めて、2020年度から「立命館科目群」を新設しました。

コロナ禍でいまだにキャンパスで逢えずにいますが、オンラインを活用して今までとは異なるかたちで他者と出会っているはずで、これは私たちを自由にするための機会となりうると考えました。教員たちもオンライン授業を開発しています。そこで展開されている知を万人に拓いていくべきだと考えました。コロナ禍対策だけではなく本来、教養知(リベラルアーツ)が取り組むべき社会問題と格闘するための場として「SERIES リベラルアーツ:自由に生きるための知性とはなにか」を開催します。多様な専門家をゲストに迎えるオンライン・トークセッションを実施します。

2020年7月14日

教養教育センター